



そら豆

フレイルとは

透析センター長 大本昌樹

平成の時代も残すところあと二か月半となり、今年度は新たな時代を迎える年となっています。昨年はまだ記憶に新しい西日本豪雨や猛暑、台風被害、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震など様々な自然災害に見舞われた一年でもありました。地球温暖化の影響か、天候の面では「過去に経験のない」というワードが頻繁に聞かれますが、今年は平穏な一年であることを願わずにはられません。

さて来年度は特に「フレイル」対策を重点的に取り組みたいと考えております。「フレイル」という言葉はあまり聞きなれない言葉かもしれませんが、「加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」という概念とされています。身体的な脆弱性だけでなく心理的、社会的脆弱性などの問題も抱えやすく、認知機能の低下、転倒・骨折、新規の入院などを招きやすいハイリスク状態と考えられています。ただ「フレイル」は適切な食事・栄養療法、運動の介入により進行を防ぎ、改善させることが可能です。透析患者さんは一般の方比べて「フレイル」の頻度が高いことが報告されています。このため透析患者さんでは特に「フレイル」の状態を早期に発見し、食事・栄養療法、運動の介入を行うことが重要だと考えています。透析センターのスタッフだけでなく、病院の多職種スタッフの協働により「フレイル」対策を行い、当院の透析患者さんのより良い透析を支えていきたいと思っております。

そら豆は 空に向かって 豆がなります。また 腎臓の形は そら豆に似ています。皆様の 気持ちも 上を向きますように...

発刊： 済生会今治病院 透析センター
代表： 透析センター長 大本 昌樹
患者数： 243名 (2/11 現在)

CE 重谷

オンラインHDF

血液透析濾過（HDF）は拡散と濾過を組み合わせ、小分子から中大分子までの尿毒症性物質を効率よく除去しようとする治療法です。

通常透析は、拡散作用と言って「血液と透析液の差で老廃物を除去」しますが、濾過は「ダイアライザーに圧力をかけて血液から大量の老廃物を除去する」ことをいいます。

HDFでは濾過できる量を増やすために、補液をして、今までの透析では抜けきれない2マイクログロブリンなどが除去可能な治療法です。

メリット

- ①透析中の血圧低下を予防する
- ②かゆみを軽減する
- ③関節痛を軽減する
- ④不眠を軽減する
- ⑤手根幹症候群を未然に予防する



生命予後が良い!

血液透析患者さんに起こりやすい合併症

<p>関節痛</p>	<p>かゆみ</p>	<p>透析中の不快な症状</p> <p>血圧低下</p> <p>気分不良</p> <p>足がつる</p>
------------	------------	--

HDF

上記の合併症の 症状改善・予防が期待できる

唯一のデメリット

大量の老廃物を除去すると同時に、若干体に大切なアルブミンも除去されてしまいます。定期検査で監視していますが、食欲がない患者様では注意が必要になります。

透析（HD）からオンラインHDFに変更
オンラインHDFへ変更をする際、ベッドの位置や透析時間など今までと変わりません。専用のダイアライザーになる為、変更させていただきます。

感染管理認定看護師 西村

【インフルエンザとは】

インフルエンザとはインフルエンザウイルスが喉や気管支、肺で増殖することで起こる病気です。インフルエンザの主な症状は急な悪寒・発熱・頭痛、関節痛・筋肉痛が特徴的な状態で、その後鼻水、くしゃみ、喉の痛み、腹痛・下痢などを伴う場合もあります。

【インフルエンザの治療】

● 一般療法（生活療法）

安静にして睡眠や休養を十分にとる、脱水が起こりやすいため水分を補給するなど



● 薬物療法

原因療法：抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ・イナビル・ラピアクタ・ゾフルーザ）での治療



● 対症療法

解熱鎮痛薬（高熱に対して）や抗菌薬（細菌などによる肺炎などの二次感染に対して）の治療

【インフルエンザと診断されたら】

必ず透析センタースタッフに、インフルエンザに罹患した旨をお伝え下さい。発症から五日間経過し、かつ解熱後二日間までは個室での透析や時間帯をずらすなど対応をさせて頂きます。（透析はワンフロアで実施している患者様が多いため、感染の拡大予防目的で上記の対策をとらせていただいております。）

【インフルエンザの予防】

- ・流行前のインフルエンザワクチン接種の実施（発症予防だけでなく重症化予防にもなる）
- ・外出時や透析中のマスク着用（発症者のウイルス拡散予防、非発症者がくしゃみで飛び散ったウイルスを吸い込まないためや喉の湿度を保つため）
- ・手洗いの励行（手に付着しているかもしれないウイルスや他の細菌の除去）
- ・うがいの励行（ウイルスや細菌の除去、喉の湿度を保つ）

インフルエンザを

予防して元気に冬を

乗り越えましょう

